

2026. 9. 2 (水) 琉球新報

熊本地震 義援金

県技術士会が16万7000円

県技術士会の大城政人会長と写真右から2人目、山中亮副会長と同3人目、川満康智副会長と同4人目とらが2日、那覇市の琉球新報社を訪れ、熊本地震の義援金として16万7千円を託した。大城会長は、被災者に「とにかく元気になってほしい。なんとかなると、強い気持ちを持って」と思いを語った。

同会は、島しょ県ならではの災害に強いインフラ整備で「沖縄防災モデル」の確立に向け取り組んでいくという。

琉球新報社での義援金の受け付けは終了している。